

環境年報 2019

Environmental Annual Report 2019



アスカコーポレーション 株式会社

目次

<目次>

◆ 目次	1
◆ ご挨拶	2
◆ 会社概要・沿革	3
◆ 環境方針	4
◆ 環境マネジメント	5
◆ 環境目標	6
◆ 環境負荷実績と法令順守	7
◆ 地球温暖化防止	9
◆ 節電活動	9
◆ 地域活動	10
◆ 年次トピックス	11



<表紙写真>



【表紙の写真】 直方チューリップフェア2019

直方市の一大イベント。毎年遠賀川の河川敷で環境美化を目的に、大勢の市民ボランティアさんや企業の皆さんが球根の植え付けから、草取り手入れまで協力。2019年は13万球のチューリップが天候にも恵まれ、見頃となった3月末のフェアには31万人の来場がありました。ASKAも毎年この活動に参加しております。

■ 編集解説

- 1) 「環境年報2019」は、当社の環境活動の取り組みと成果を、年次報告として取りまとめたもので今回が5回目の発行となります。
- 2) 活動の実績は2018年度(2018年6月～2019年5月)を示しますがデータについては一部以前からの活動と直近の活動実績も含んでおります。(表紙の西暦年号は発行年を表しています)
- 3) ご参考までに2018年度は弊社事業年度で第49期に当たります。

本小冊子が「弊社環境活動」のご理解の一助にでもなれば幸いです。

ご挨拶

お元気様です！

皆様、こんにちは。

日頃より大変お世話になりまして誠にありがとうございます。

当社は「自然との調和」を基調に、未来技術をアシストする
表面処理業(Plating Art)として時代を常にリードし続け
社会と暮らしに、陰ながら貢献してまいりました。

「環境はあらゆる生命の母胎であり、存続の基盤」と受け止め
一人ひとりが環境の有限性を深く認識し、事業活動や日常活動
が環境負荷の少ないものへ、持続的発展が可能な社会となるよう
取組を通じて、地球環境の保全に貢献していく所存です。

今後ともアスカコーポレーションの「環境諸活動」にご理解を頂き、ご支援とご協力の
ほどをよろしくお願い申し上げます。



2019年 8月

アスカコーポレーション株式会社

代表取締役社長 阪 文孝

■ 経営理念

キラリ 人、技術、未来 そして自然

人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。
またキラリ輝くアスカの表面処理技術によって、
ユーザー商品の品質と未来技術を支え、企業と
して永続的に輝き続けたいのです。

■ 経営方針

- 夢技術の創造
- 人、くらし、心を創る
- 未来社会を支える

■ 行動指針

- モノの未来を見つめ可能性にチャレンジ
- アーティスト集団となる
- クリーン&ビューティー
- 早くそして気持ちよく安心して満足を
- サンキュー&ハート
- 人と個性を大切に

会社概要・沿革

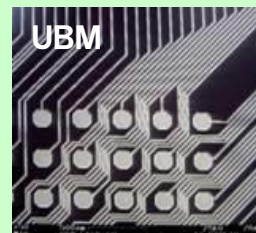
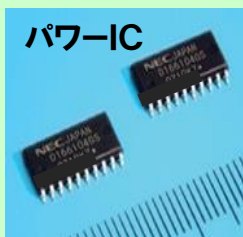
◆ 会社概要

名 称 アスカコーポレーション株式会社
 所在地 〒822-0007
 福岡県直方市大字下境、黍田427-8
 設立年 昭和46年1月18日
 資本金 3,200万円
 代 表 取締役社長 阪 文孝
 規 模 敷地面積 8,337 m²
 建屋面積 3,009 m²
 延床面積 6,726 m²
 従業員 127名(2019-10-1 現在)
 業 種 金属表面処理業(めっき処理)
 (銅下ニッケル、ダブルニッケル、無電解ニッケル
 リードフレーム全面銀、金・銀 外装フープ
 パラジウムフープ、UBM、粉体めっき
 バックメタル)



＜アスカコーポレーション工場全景＞

加工製品群



◆ 会社沿革

- 1971 OMRON(株)様の要請により直方市に進出
(株)上田鍍金工業所として独立
- 1975 自動車部品の亜鉛めっきライン設置
- 1985 第3工場完成 IC用めっきライン設置
- 1989 第4工場建設 ICスポット銀 P-Niライン設置
- 1993 社名変更「アスカコーポレーション 株式会社」
- 1998 新建屋完成 パラジウムフープライン、Auライン導入
- 1999 ISO9002認証取得
- 2000 無電解ニッケルライン、外装半田ライン導入
- 2001 中国(蘇州)進出(蘇州飛鳥表面処理公司)
- 2003 UBMめっきライン導入、アスカ塾開校
- 2006 ISO14001認証取得
- 2011 外装ライン導入
- 2013 バックメタルライン、粉体めっきライン導入
- 2016 阪(和彦)会長就任、阪(文孝)社長就任
- 2017 電解バックメタル2号機導入
- 2018 ワンストップサービス装置導入
ISO14001:2015年版認証取得



＜2006 ISO14001(JQA)＞

環境方針

当社は「心を高め、経営を伸ばす」の経営理念のキーワードのもと、2019年度も「安全で環境と共生する会社」を事業方針に据え、環境活動の充実に取り組みました。

【適用範囲】

1. 登録組織名称：アスカコーポレーション株式会社
(所在地、活動内容は会社概要に記載)
2. 組織及び対象者の範囲：当社のすべての組織及び従業員(派遣社員、パート等を含む)に適用する。
3. 影響を及ぼすことができる範囲：黍田工業団地、外注先、供給者、請負業者、他

環 境 方 針

1、経営理念

キラリ！ 人、技術、未来、そして自然！
人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。またキラリ輝くアスカの表面処理技術(メッキ)によって、ユーザー商品の品質と未来技術を支え、企業として、永続的に輝き続けたいのです。

2、環境方針

従業員一人一人が企業活動のあらゆる面で、地球環境の保全に努め、豊かで安全な社会の構築に貢献することを目指して行動します。

3、行動指針

当社では、独自に培った技術を駆使し、リードフレームやリレー部品及びその他の電子部品の表面処理を実施しており広く社会のくらしをサポートしております。しかし、その加工や開発の過程では少なからず環境に影響を与えていることを認識し、次に掲げる環境活動を展開します。

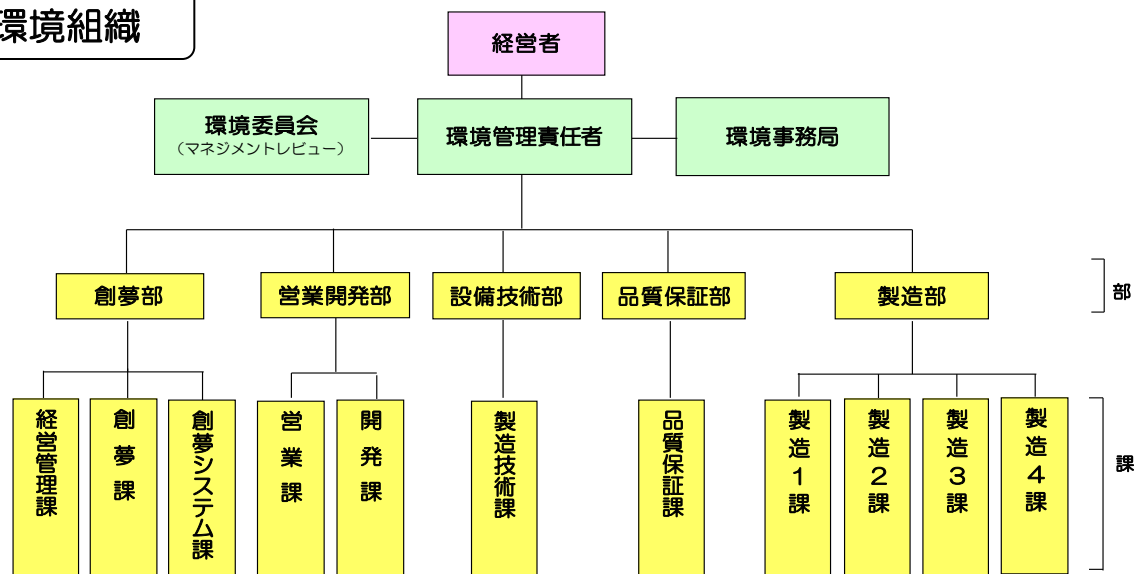
- 1) 私たちは当社が環境に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的な可能性を考慮して、次の事項につき環境目的、目標を設定し、環境負荷の低減、環境汚染の予防及び環境保護に努めます。
 - ① 省エネルギー、省資源の推進
 - ② 工程の改善による材料の削減
 - ③ 廃棄物の分別と削減
 - ④ 地域社会との環境調和
 - ⑤ 排水基準の遵守
- 2) 私たちは環境保全の仕組みについて、定期的に環境目的、目標の達成度をレビューし、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- 3) 私たちは環境法規制及び当社が同意した協定等その他の基準を順守します。
- 4) 私たち組織で働くすべての者は環境意識の向上に努め、積極的に地域の環境活動に参画し、地域住民との交流を図ります。
- 5) 私たちはこの環境方針を内外に公表し、要求があったときはいつでも外部に公表できるようにします。

アスカコーポレーション株式会社

代表取締役 社長 阪 文孝

環境マネジメント

環境組織



ISO14001定期審査

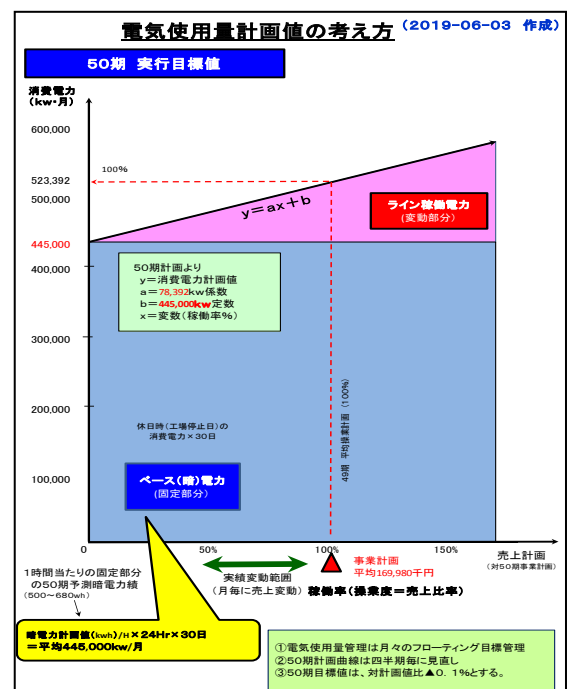
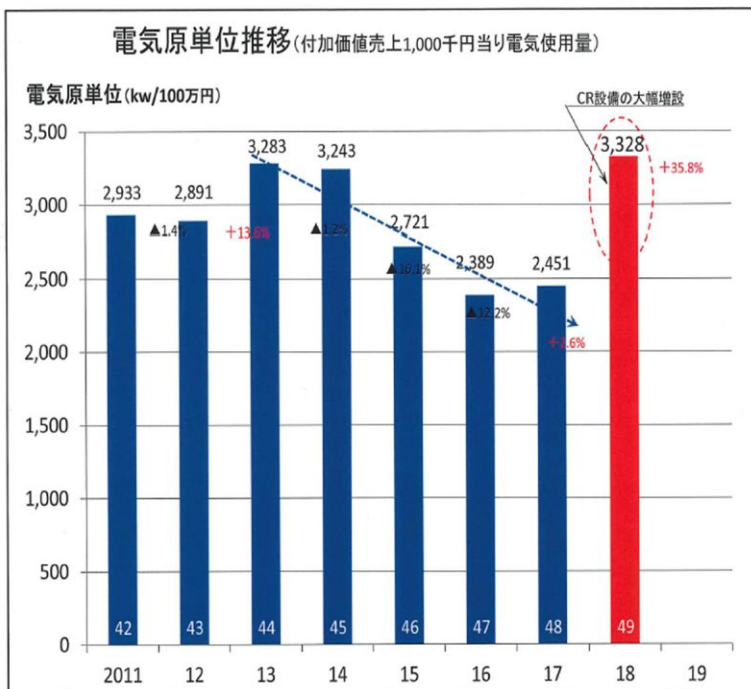
当社は、2006年3月に環境国際規格であるISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得しており、各審査でも重大な不適合の発生はありません。今後も環境MSのパフォーマンスや有効性の向上に努力して行く所存です。

年 度	カテゴリA	カテゴリB	改善の機会	グッドポイント	ストロングポイント
2006年(1st/2ndステージ)	0	1	20	0	0
2007年(定期審査)	0	0	21	0	0
2008年(定期審査)	0	0	9	0	0
2009年(更新審査)	0	0	11	0	0
2010年(定期審査)	0	0	9	1	0
2011年(定期審査)	0	0	7	2	0
2012年(更新審査)	0	1	13	0	0
2013年(定期審査)	0	0	3	1	1
2014年(定期審査)	0	0	10	0	0
2015年(更新審査)	0	0	12	1	0
2016年(定期審査)	0	0	9	1	0
2017年(2015年版移行審査)	0	0	5	1	0
2018年(更新審査)	0	0	14	2	0
2019年(定期審査)	0	0	6	1	0
2020年(定期審査)	0	1	6	2	0

環境目的・目標

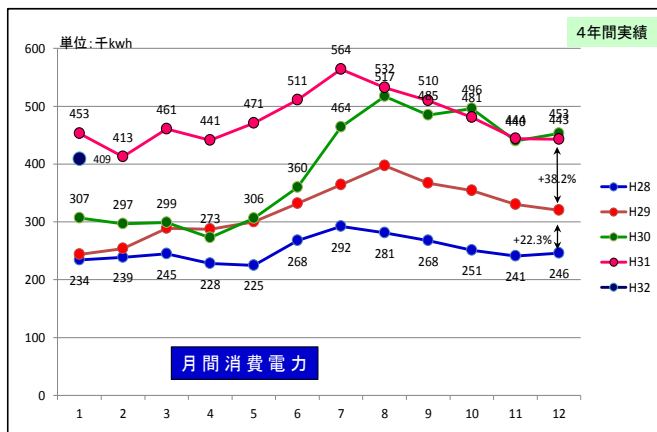
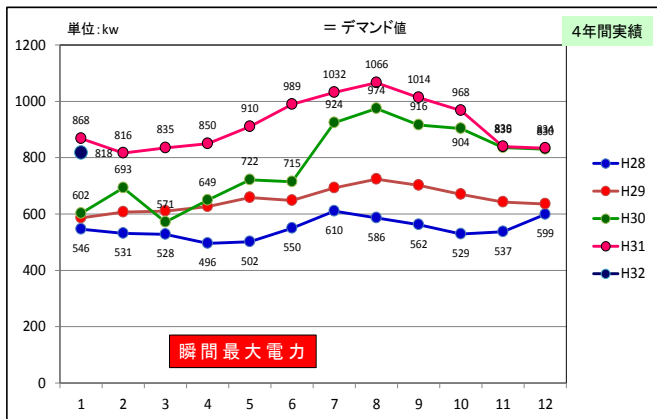
当社の活動から生ずる環境影響を低減する手段として、ISO14001に適合した環境マネジメントシステムに基づき環境目標を策定し推進しています。
環境目標は当該年度の計画となります。(49期＝2018年度の実績です)

No.	環 境 方 針	環 境 目 標 (49期)	実績	評価
1	省エネルギー	電気使用量の削減 49期計画値比 年度末2%削減	49期計画値比、27.9%削減 達成率 139%	○ 達成
2	省資源	工場用水使用量の削減 前期比、年度末2%削減	前期比、6.0%オーバー (未達成)	× 未達成
3	省資源	めっき薬品使用量の削減 前期比、年度末で0.1%削減 (部署毎に目標を設定)	前期比、年度末6.2%削減 達成率 126%	○ 達成
4	地域社会との 環境調和	植栽活動 (下草刈、枝の剪定・・・12回以上/年)	17回/年 実施	○ 達成
		・納涼祭の開催(8月)実施 ・工業団地協議会 1回以上/年出席 ・めっき組合会合参加 6回以上/年出席 ・のおがたチューリップフェア・夏祭り 協賛・参画	・納涼祭 8月実施 ・工業団地協議会 1回/年出席 ・めっき組合会合 10回/年参加 ・のおがたチューリップフェア・夏祭り 協賛	○ 達成
5	環境保全活動の 継続的改善	環境クレーム「0」の推進	環境クレーム0件	○ 達成



環境負荷実績と法令順守 (1)

ASKA使用電力実績 (瞬間最大電力と月間消費電力の関係)



電気

節電効果は原単位評価(前頁)で実施しており成果は継続していますが新規設備(特にクリーンルーム)の相次ぐ稼働により待機電力比率が一層高くなっています。また夏場の瞬間電力値も高水準で推移しておりピーク電力値の低減が大きな課題です。左表は月別の最大電力と月別総電力の消費実績です。

電気の契約は、H27-8より従来の九州電力1社契約から新電力を加えた「部分契約方式」を継続中で料金にして毎月、数%/年の支払い削減効果を継続しています。地球温暖化に大きな環境負荷を占める電気については今後もきめ細かな管理を継続して行きます。

用水

用水量(井戸水・上水)は原単位評価で今年度はラインの増設もあり前年比+6%の計画未達となりました。月の用水総使用量平均は6,500m³で、その殆ど(97%以上)を工場地下水で賄っております。また市からの上水は月平均150m³で主に厚生用として消費しております。

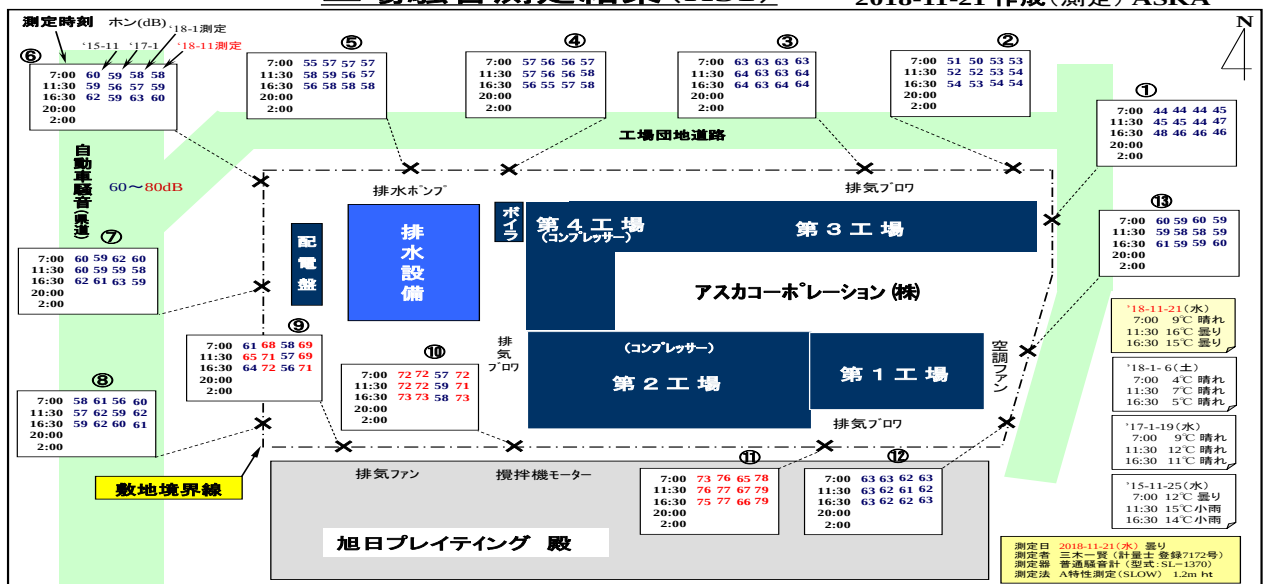
騒音

事業活動で発生する「騒音」については直方市の告示で第3種地域に指定されており定期測定を実施し、規制基準の遵守に努めております。

測定結果から全く問題ないレベルを確認しています。

工場騒音測定結果(H31)

付図-4
2018-11-21 作成(測定) ASKA



環境負荷実績と法令順守(2)

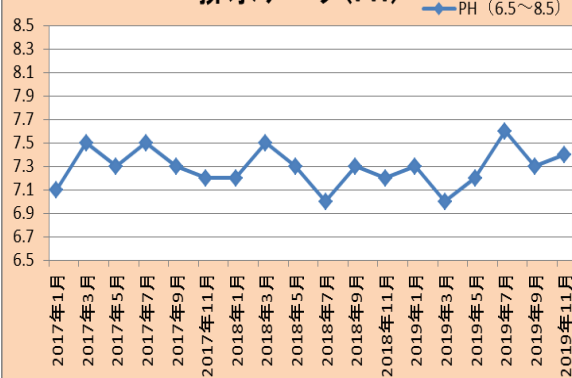
◆ 水質管理

水質汚濁防止法に係る「施設」を保有しており、各ラインからの排水は当社の排水処理設備にて処理されます。工場の排水は24時間リアルタイムで管理されており、直方市との公害防止協定で締結した15項目の規制基準の遵守に努めております。規制値違反、外部環境クレーム(苦情)等の発生ゼロを継続しております。

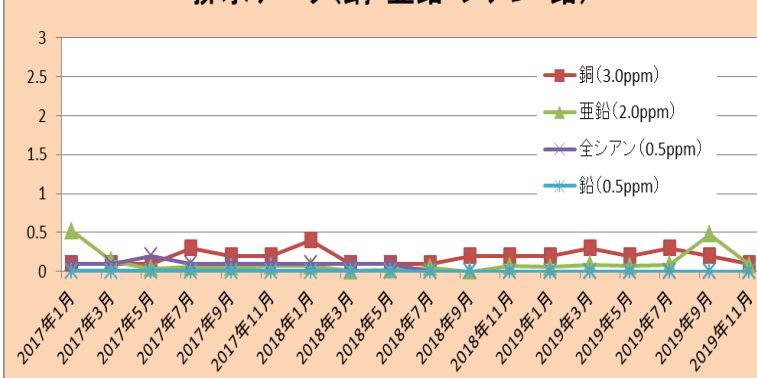


＜排水工場全景＞

排水データ(PH)



排水データ(銅・亜鉛・シアン・鉛)



(防災訓練とKYT訓練)

当社では毎年秋に、隣接の工業団地企業さんとも合同で全従業員参加の総合防災訓練を実施しております。H30年度は大地震発生で排水薬品漏洩と設備火災を想定したBCP対応訓練を行いました。また労働災害防止を目的としたヒヤリハット活動や危険予知訓練(KYT)も毎月、全社員対象に実施しており、現在「14年連続労災ゼロ」に挑戦中です。



＜本部全員集合＞



＜避難点呼確認＞



＜ホース班活動＞



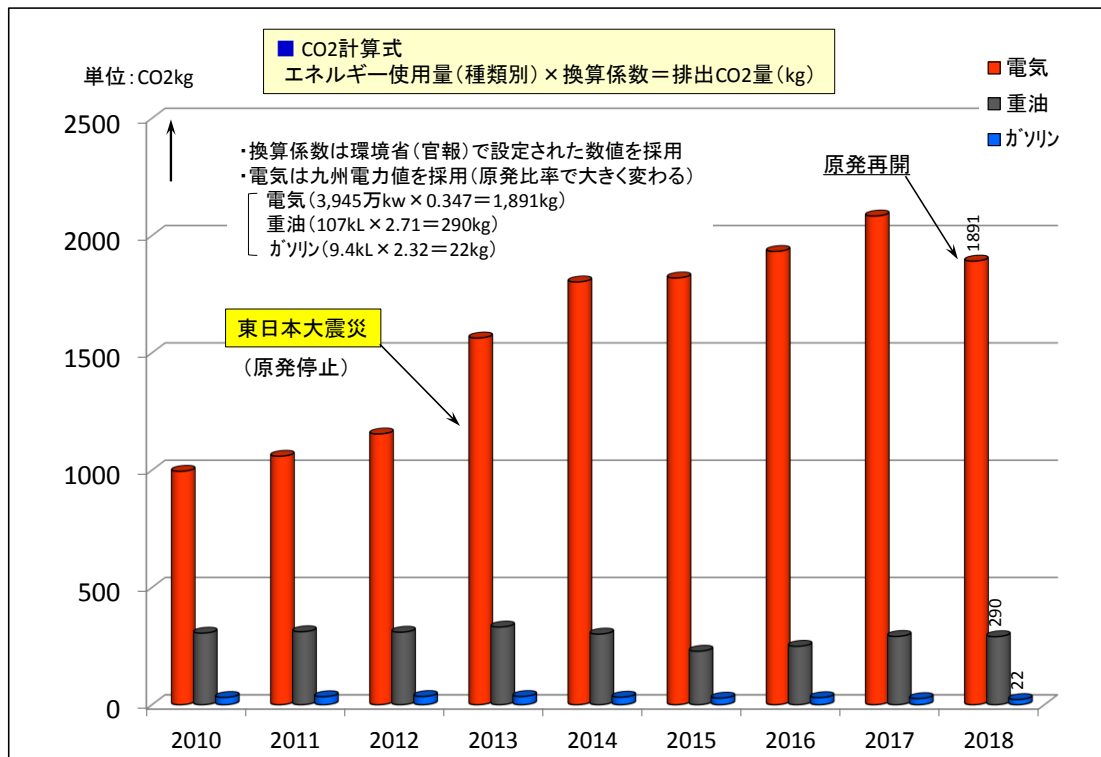
＜初期消火活動＞

● H30-11-17(土) 訓練実施

地球温暖化防止

ASKA-地球温暖化環境負荷(CO2排出量換算値)

2019-12 EMS



- CO2排出の最大エネルギー源は電気でありASKA全体の86%と大部分を占めている。
- 2位は重油でボイラー(蒸気)用13%、ガソリンは社有車の燃料用で1%です。
- 電気は先の東日本大震災で全原発が停止となり、燃転で換算係数が大幅に増加。
- ASKAについては更に設備投資の関係で消費電力量自体も大きく増加して来ている。

省エネ講習、展示会への参加 (省エネ事例、環境商品)

全国省エネ月間行事や企業省エネ商品展示会等の機会をとらまえて、積極的に出席・参加しております。H30年度は推進事務局から、「電力利用効率化講演会」や福岡国際センター「未来創造展」等に出席し、多くの省エネ情報を収集し活用することが出来ました。

【キーワード】

- 省エネ重視か? 快適性重視か?
経営的にはどちらが本当に有利なのか?
- 省エネ投資(生産性革命促進事業)への挑戦
- 人にやさしい生産! 安全は全てに優先!
考え方が参考になりました。
- 他企業の省エネ事例紹介
既に、ASKA導入済のアイテムも多かったがやり方まで含めて今後も貪欲に収集したい。

<九電 北九州支店>



電力利用講演会 H30-2-16

未来創造展 H30-10-11



<福岡国際センター>



地域との調和(コミュニケーション)

当社は、地域社会とのコミュニケーションを通じて相互が環境への認識を深め、広く環境保全に貢献する為に、2018年度は以下の様な活動を行いました。

納涼祭

当社では、毎年8月に納涼祭を開催し、地域住民の方々とのコミュニケーションを図っています。2018年度は350名の参加がありました。従業員による店舗の売上は全て近くの養護学校へ寄付しています。今では黍田地区の夏の風物詩となっております。



<会場:アスカ駐車場広場>

<子供さんも参加>



<飛び入り余興>

植栽活動

工場の景観美化と従業員への安らぎの気持ちの享受及び地球温暖化の防止の為に社員で植栽活動をしています。工業団地入口の坂道には小さな花壇も作りました。



<工業団地入口にも花壇設置>

工業団地の清掃

工業団地入口坂道スロープ周辺の朝の清掃



<毎朝、朝礼前に全員分担で10分清掃・・・清掃延べ時間:10分×10名×15日/月×12ヶ月=300Hr/年>

年次とびっくす (2018年度)

■ 第2工場 工場建屋断熱化 (2018-3)

第2工場の建屋は屋根・壁共にスレート葺きのため、外気との遮熱性が劣り、夏場は直射日光の影響で悠に30℃を越す高温作業環境となっていました。作業場所を局所化しスポットクーラーで対応していましたが新ライン導入計画に併せて建屋全体に遮熱材を採用、第2工場建屋全体の熱負荷の削減を図りました。 ● 床面積:1,192㎡ 建築面積:1,060㎡



＜第2工場建屋の省エネ遮熱性能改善＞

■ 第1駐車場 NTT団地回線樹木伐採 (2019-4)

第1駐車場経由、黍田工業団地に4本の電柱で配線されているNTT社様の垂れ下がり電話回線ケーブルが駐車場の樹木（桜、楠、他）に接触していました。危険な状態をNTTに通報。工作車が出動し、工業団地内のケーブル総点検と危険個所の樹木伐採を行いました。（電柱は設置後：各10年経過）

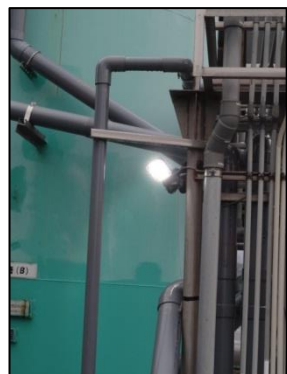


＜第1駐車場NTT回線植栽＞

■ 夜間スポットLED照明の導入 (2018-11)

工場照明のLED化に取り組んで来ました。事務所を含めた24時間稼働現場については昨年度で全てLED照明への移行を完了しました。今年度は安全面と省エネの両面から、24時間稼働設備である排水工場の18ヶ所に「人」感知型の自動スポットLED照明を設置しました。

設備夜間監視の安全性と節電で効果大です。ASKA照明の90%以上は省エネ型になっています。



＜沈降槽前＞



＜回収槽前＞



＜連絡通路＞

今後、常時作業者がいない倉庫、物置や廊下、空きスペース、屋外灯などの照明器具が残っていますが、機会をとらえて必要性を再考し、更新計画を進めます。

■ 直方市上水受入配管改善 (2019-3)

直方市から受け入れている上水は、2系統からの埋設配管となっていたが老朽化が進み、配管地盤も沈下、量水器も更新時期となっていました。今回、埋設配管系統を1本化し、量水器も更新。上水は@300円/㎡と高価なため、工場給水タンクの液面(貯水量)管理の見える化を図ることにより厚生用途のみの消費に大幅削減しました。現在の上下水消費は毎月150㎡の略コンスタントです。



■ 直方チューリップフェア (2019-11)



遠賀川河川敷で毎年行われる直方チューリップフェアの球根植え付け活動に創夢メンバー6名が参加しました。毎年咲き終わった球根を掘りに行っていたのですが、今年から球根植えにも参加するようにいたしました。市役所で用意した木枠の穴に球根を置く人、置かれた球根を深さ10cm程に埋める人と手分けして作業実施。今年の春、きれいなアスカチューリップが咲くと思いますので是非、見に行ってください「感動」間違いなしです。

●日程: R2-3/28～4/12 (2週間)

●場所: 直方リバーサイドパーク(市役所下、遠賀川河川敷)

■ ASKA開花宣言標本木



左の写真はASKA開花宣言標本木です。池を隔てて、福智山を真東に臨める位置にある樹齢50年のソメイヨシノです。

昔、ASKAでは4月初旬の創立記念日頃が開花時期でしたが、近年では時期を早めて3月開花が多くなってきています。

これも温暖化の関係でしょうか・・・？

2015(3/27), 16(3/22), 17(4/3), 18(3/23), 19(3/26)



定期点検

<No1キュービクル>

■ 受電盤定期点検と負荷調整 (2018-4)

工場で消費する電気は九州電力と新電力との部分契約で購入しておりASKA工場内の受電盤2基で一括受電しています。

長年のライン設備の変遷で、受電盤の負荷バランスが崩れてきていたので、今年度の定期点検時に負荷調整工事を行いました。今後も電気事故防止を図って行きます。

■ 黍田団地協議会 (2019-6~)

直方市黍田工業団地内には弊社含めて4社が企業活動を行っております。特に市行政や環境面では共有すべき情報も多く「協議会」を設置、運営してきました。今後も密なるコミュニケーションで、団地企業の発展と一層の地域貢献を担って行きたいと考えています。(来期、会長会社予定)



団地入口

黍田工業団地 看板

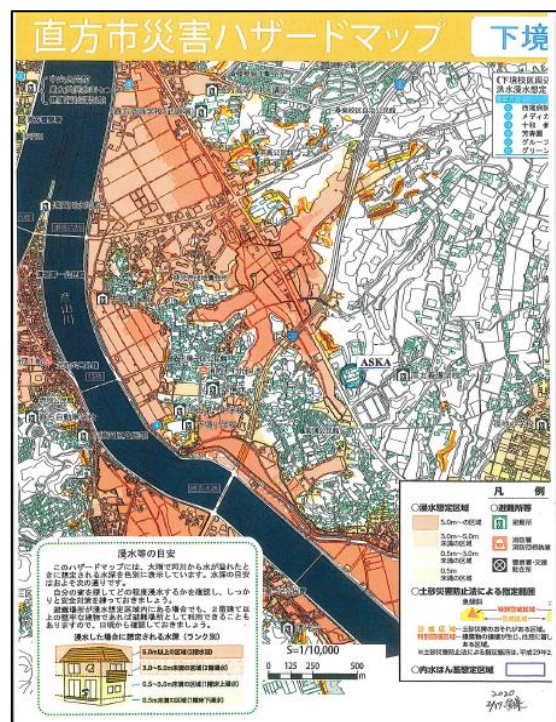


三井ハイテック様

旭日フレイティング様



直方機工様



■ 事業継続計画の見直し (2019-2~)

事業継続計画(BCP)についてはH23年11月に「中小企業庁」推奨の作成モデルを基にASKA版を策定いたしました。その後、ISO(国際規格)の要求もあり中味の見直しと充実を図って来ました。H30年は各顧客様とのコミュニケーションの見直しや、大規模な地震を想定した災害対策訓練を実施致しました。

またH30年発生 of 西日本豪雨災害の教訓から「災害ハザードマップ」も活用したBCP改訂第5版を現在作成中です。今後も有効な事業継続計画の運用に向け努めてまいります。

アスカコーポレーションのオールスターキャストです

2019年も「お元気さま！」
キラリ、人、技術、未来 そして自然！



2019-4-6撮影

■ 編集後記

2018年度の実績データを中心に、年報という形でまとめました。
5回目の年報発行となりますが今回も年次ピックスを主体にシンプルな
内容で統計の連続性を重視した編集と致しました。

記事に関するご質問やご感想、また弊社に対してのご要望などが
ございましたら裏面記載の連絡先までご一報ください。

ありがとうございました。

キラリ！未来技術をアシスト



ASKA

アスカコーポレーション株式会社

品質保証部 環境担当

〒 822-0007 福岡県直方市大字下境字黍田427-8

TEL 0949-23-0331 FAX 0949-28-2941